

電 力 情 報

NO. 40

平成 27 年 9 月 29 日

東 北 電 力 (株)

8 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

8 月分の販売電力量は、64 億 1,400 万 kWh、対前年比 99.9% の実績となりました。東日本大震災からの復興の動きなどが続いていることに加え、気温が高かったことにより冷房需要が増加した一方、前年に比べ検針期間が短かったことなどから、前年並みの実績となりました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災からの復興の動きなどが続いていることに加え、気温が高かったことにより冷房需要が増加したものの、前年に比べ検針期間が短かったことなどから、対前年比 99.5% の実績となり、2 カ月ぶりに前年実績を下回りました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 99.9% の実績となりました。

特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、需要回復の動きに加え、気温が高かったことによる冷房需要の増加などから、対前年比 100.8% の実績となり、7 カ月ぶりに前年実績を上回りました。

特定規模需要の合計では、対前年比 99.9% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、復興需要や一部業種で生産持ち直しの動きが継続しているものの、一部での生産設備の定期修理影響などから、前年比 98.2% の実績となりました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

8月の発受電電力量の合計は、69億4,100万kWh、前年比99.3%の実績となり、2カ月ぶりに前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率69.4%の濁水となり、前年出水率を43.6%下回ったことなどから、発電量は前年を2億4,000万kWh下回る4億6,100万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を1億3,200万kWh上回る49億5,400万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

発電量は8,100万kWhとなり前年並みの実績となりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を6,000万kWh上回る21億5,800万kWhとなりました。

以 上